

⑧ 鶴岡幼稚園 1950(S25)年～

幼稚園設置の道のり

鶴岡八幡宮宮司より、神社境内に幼稚園設立の伺書を提出された神奈川県には、神社に教育機関の設立は許さないと強く主張する担当者もいた。県知事内山岩太郎名で、元国幣中社の宮司が幼稚園を設立することや、設立場所が境内で差支えないかを文部省に伺い、問題ない旨の通達を受けた。1950年3月9日鶴岡幼稚園は神奈川県知事より設立を許可された。

極端な国家主義と軍国主義の思想基盤だった「国家神道」に携わった宮司・権禰宜・禰宜は連合軍の教育改革指令により教職追放されていた。初代園長には細川武子(幼児教育者・調布幼稚園初代園長)を迎え、4月



1950年 第1回入園式

園児 20 名で開園した(2 代目からは宮司が園長)。

園舎は源氏池畔の元休憩所(32年建築)を使用し、



鶴岡幼稚園 園舎

太を使い、工務所の木切れで木工作をする時は加藤から道具の使い方や木の選び方をなどを教わった。

鎌倉唯一 神社の幼稚園

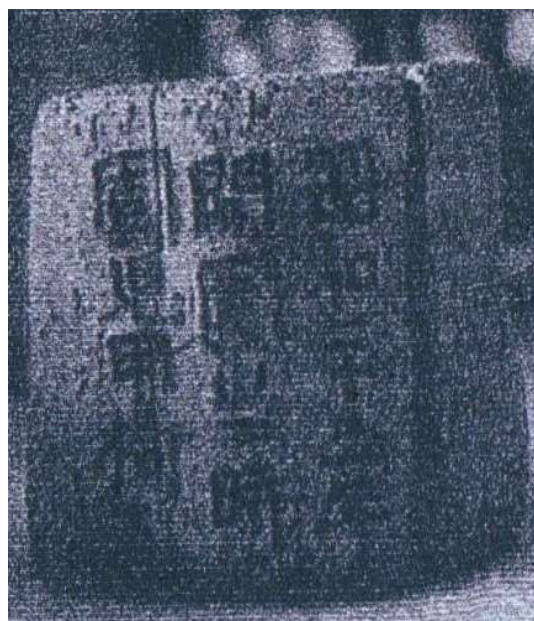
51年4月、神さまへの「あいさつのことば」が作られた。(細川園長作)

丸太の椅子

朝 「神さまおはようございます。今日もみんながおりこうで、おけがないようにお守りください。」

食事 「神さまいただきます。おじいさま、おばあさま

土間の入り口に板張りの教室で、園舎の増改築や小道具作りは、神社工務所の加藤謙吉があたった。20個の椅子は境内で切った松の木の丸



いただきます。お父さま、お母さまいただきます。先生
いただきます。」

帰り「神さまさようなら。今日もお守りくださってあ
りがとうございます。」

毎日のお祈りや、毎月1日と15日の八幡宮本殿参拝、
誕生日は親子で本殿に上がり、祝詞を上げお守りをい
ただく。七五三の11月15日は舞殿で参拝するなど、
神社幼稚園ならではの行事も行われる。

七夕祭りやお神輿かつぎ、餅つきなど日本の行事を
大切にし、神社のお参りや行事に参加する事で、礼儀
や作法を学ぶ機会も多い。

鎮守の森に包まれて

広い境内を園庭に、鶴
岡八幡宮の伝統と文化
的雰囲気にも包まれ、神
社を訪れる多くの人た
ちとも触れ合い、人と
人の温かい結びつきを体験している。



八幡様のお祭りのお手伝い